



「Over Cancer Together ～がんを共にのりこえよう～」キャンペーンとは？

OCT は、リブストロング財団と米国がん協会が世界的なキャンサー・サバイバーの草の根運動を支援する活動の一環として、その趣旨に賛同した日本の複数の団体が協力して活動しています。OCT キャンペーンはがん種を問わず、キャンサー・サバイバー*ががん体験を語り、その声を多くの人に広く伝えることで、日本のがんに関する課題を明らかにして「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」(厚生労働省「がん対策推進基本計画」2012年6月)の実現を目指しています。

ウェブサイト：www.octjapan.jp
 Facebook：www.facebook.com/octjapan.jp Twitter：[@octjapanjp](https://twitter.com/octjapanjp)

■ キャンペーン参加・協力団体

【運営】

特定非営利活動法人 日本医療政策機構 www.hgpi.org

2004年の設立当初より、市民主体の医療政策を実現すべく、独立のシンクタンクとして、それまで行われていなかった幅広いステークホルダーの結集を実現し、社会に新しい政策議論の場を提供してきました。HGPIは特定の政党、団体の立場にとらわれず、独立性を堅持するという行動指針にもとづき、将来を見据えた幅広い観点から、政策に関心を持つ市民に選択肢を提示し、調査分析のみならず多分野のステークホルダーを結集し、創造性に富み実現可能な解決策を示すべく活動しています。

NPO 法人キャンサーネットジャパン <http://www.cancernet.jp>

1991年、二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布した活動に始まり、がんに対する正しい理解を促進し、がん患者が自分らしくがんと向き合い、がんになっても生きがいのある社会を実現するために、Know(≠No) More Cancerのメッセージのもと、科学的根拠に基づくがん医療情報を「知る」「学ぶ」「集う」形で、あらゆるメディアを通して発信しています。

任意団体ジャパンフォーリブストロング www.japanforlivestrong.org

フォーリブストロング(JPLS)はリブストロング財団を日本で支援活動している任意団体です。

リブストロング財団を支持して、日本国内でのがんと闘いをサポートするために人々を団結していきます。

【後援】厚生労働省、国立がんセンター がん対策情報センター、日本対がん協会

【寄付団体・寄付者】サノフィ株式会社、日本イーライリリー株式会社、乳がんフィットネスの会、樋口宗孝がん研究基金、Rock Beats Cancer !! 実行委員会、新京極商店街振興組合、エイペックスメディカル株式会社、個人の皆様

【協力】マイオンコロジードリーム、一般社団法人日本癌医療翻訳アソシエイツ、乳がんフィットネスの会、特定非営利活動法人がんサポートコミュニティ、メンタル・スパ、Friends Holding Hands (FHH)、くまがやピンクリボンの会、STAND UP!!、Cue ~ Congratulations on your Unique Experience、にこスマ九州、ペリダンススタジオ砂漠の太陽、公益財団法人がんの子どもを守る会、岩手県臨床衛生検査技師会、パイレーツオブ東京湾

【技術協力】株式会社はる、株式会社かるてぼすと、有限会社レベルフォーデザイン、株式会社東京丸の内アプリプレス

【賛同】ジャパン・エコー・デ・アロマセラピー、NPO 法人二枚目の名刺、NPO 法人エンパワリング プレストキャンサー、Cava!～さいたま BEC～、舟橋行政書士事務所、株式会社ソーシャルカンパニー、Sport For Smile、NPO 法人プラストビート、ココナラ(株式会社ウエルセルフ)、NPO 法人 放課後 NPO アフタースクール、NGO ユイマール

【米国支援パートナー】米国がん協会、リブストロング財団 (2013年11月14日現在)

お問い合わせ

Over Cancer Together 事務局

特定非営利活動法人 日本医療政策機構

〒100-0083 東京都千代田区永田町 1-11-28-7 階 TEL:03-5511-8521 MAIL:oct@hgpi.org

担当: 小山田・國村

*本キャンペーンでは、がん患者、経験者とその家族、遺族、ケアをする人、友人など、「広くがんに関係のある方々」を「キャンサー・サバイバー」としています